科目名称	成人看護学方法論Ⅱ （慢性期・終末期）	学年学期	単位数	時間数
		2学年後期	1	30
担当教員	宮下佳生　福田栄江　他	授業に関わる実務経験	■ 有 （ 看護師 ） □ 無	

【1】 授業概要

慢性疾患を持つ対象は、生涯にわたって治療を継続し、社会生活の中で健康管理をしながら疾患とつきあっていかなければならない。慢性疾患をもつ人々の多様な価値観や生き方を理解し、対象が自分自身で症状マネジメントできるよう、専門職として援助する方法を学ぶ。

緩和ケアとは生命を脅かす疾患に起因した諸問題に直面している患者と家族のクオリティオブライフ（生活の質・生命の質）を改善する方策で、痛み、その他の身体的・心理的・スピチュアルな諸問題の早期かつ確実な診断、早期治療によって苦しみを予防し、苦しみから解放することを目標とする。

緩和ケアは病気の治療と平行して行われており、患者の全人的苦痛に対して、生活の中で最高水準の健康状態に導く方法について学ぶ。その中に、終末期医療があり、患者の家族に対してグリーフケアが行われ、患者の死後、遺族へのケアも含まれる。

また、終末期医療で脳死移植が行われている。生命倫理・生命の尊重・人間の尊厳について考え、患者・家族を支援するための知識を習得する。

【2】 学習目標

1. 慢性期にある対象の身体的・精神的・社会的特徴を理解し、説明できる。
2. 慢性期にある対象の症状マネジメントを理解し、セルフケアを支える援助を考えることができる。
3. 緩和ケアを必要とする患者の全人的苦痛を理解できる。
4. 終末期患者のクオリティオブライフを高める援助について考えることができる。
5. 終末期患者の家族に対する援助が理解できる。
6. 患者を亡くした家族に対する援助が理解できる。

【3】 第２看護学科ディプロマポリシーとの関連性

■ 1. 生活者としての人間を統合された存在として多角的に捉えることができる。
■ 2. 人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重した判断および行動をすることができる。
■ 3. 人々の多様な価値観を認識して、専門職業人としての共感的態度および倫理に基づいた看護実践をすることができる。
■ 4. 看護の対象となる人々の健康状態を判断し、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。
■ 5. 保健・医療・福祉チームの一員として多職種の連携・協働を図り調整的役割を果たすことができる。
■ 6. 松山市および愛媛県周辺の地域医療への理解を深め、地域の人々の生活を尊重・支援することができる。
■ 7. 自己の資質向上のため、看護に対する探究心・向上心をもち、主体的に学び続けることができる。

【4】 授業計画

1	関節リウマチ患者の看護	講義	大西亜子
2	慢性期看護とは	講義	宮下佳生
3	慢性閉塞性肺疾患（COPD）患者の看護	講義	山内めぐみ
4	がん患者の治療と看護	講義	大塚 環
5	がん患者の治療と看護	講義	山下広恵
6	慢性心不全患者の看護	講義	宮下佳生
7	事例展開	講義	宮下佳生
8	緩和ケアの概要	講義	福田栄江
9	がん患者と家族への看護	講義	池内靖恵
10	非がん患者と家族への看護	講義	福田栄江
11	終末期にある患者が必要とする看護	講義	福田栄江
12	臨死期にある患者への看護	講義	福田栄江
13	脳死医療　患者・家族とのコミュニケーション	講義	福田栄江
14	死後のケア	講義	福田栄江
15	筆記試験		宮下佳生・福田栄江

【5】 評価方法

筆記試験 100％

【6】 教科書

小松浩子：系統看護学講座　専門分野　成人看護学(1)　成人看護学総論（第 16 版）医学書院 2026（電子版）

川村雅文:系統看護学講座　専門分野　成人看護学(2) 呼吸器(第 16 版) 医学書院 2026 (電子版)
吉田俊子:系統看護学講座　専門分野　成人看護学(3) 循環器(第 16 版) 医学書院 2026 (電子版)
岩田健太郎:系統看護学講座　専門分野　成人看護学(11) アレルギー・膠原病・感染症(第 16 版) 医学書院 2026 (電子版)
小松浩子:系統看護学講座 別巻 がん看護学(第 3 版) 医学書院 2026 (電子版)
恒藤暁・田村恵子:系統看護学講座 別巻　緩和ケア(第 3 版) 医学書院 2026 (電子版)

【7】参考書

ナーシング・グラフィカ 成人看護学(6):緩和ケア 第 3 版,メディカ出版,2022
成人看護学　緩和・ターミナルケア看護論,ヌーベルヒロカワ,2011.
森田達也,白土明美:死亡直前と看取りのエビデンス,医学書院,2015.
がん緩和ケアガイドブック:日本医師会, 青梅社, 2015

【8】受講生へのメッセージ